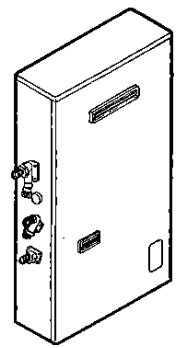
ガス風呂給湯器
〈炭酸風呂〉

ゆうゆう24

31-007型

型式名　YW2403X



取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買求めの販売店にお問い合わせください。

大阪ガス

T714

大阪ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

大阪支社	〒550 大阪市西区千代崎3－2－95	TEL(06) 586-3200
南部支社	〒590 堺市住吉橋町2－2－19	TEL(0722)38-1131
北部支社	〒569 高槻市藤の里町39－6	TEL(0726)71-0361
東部支社	〒578 東大阪市稲葉2－3－17	TEL(0729)62-1131
兵庫支社	〒650 神戸市中央区東川崎町1－8－2	TEL(078)360-3100
京都支社	〒600 京都市下京区中堂寺粟田町1番地	TEL(075)311-7381
奈良支社	〒631 奈良市学園北2－4－1	TEL(0742)44-1111
和歌山支社	〒640 和歌山市本町1－5	TEL(0734)31-2481
兵庫西支社	〒670 姫路市神屋町4－8	TEL(0792)85-2221
豊岡支社	〒668 豊岡市三坂町6－57	TEL(0796)23-2221
滋賀支社	〒525 草津市追分町無堀680－1	TEL(0775)62-5311
滋賀東支社	〒522 彦根市大東町12－11	TEL(0749)22-3131
長浜営業センター	〒526 長浜市南呉服町3－4	TEL(0749)62-7171
本社・ガスビルサービスセンター	〒541 大阪市中央区平野町4－1－2	TEL(06) 202-2221

大阪ガス株式会社

おねがい　ガスくさいときは、ガス元栓を閉め窓を全開にして、(火気に注意して)大阪ガス支社またはサービスショップにご連絡ください。

93 8.500(00)T

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス風呂給湯器を、お求めいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき正しくお使いください。
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

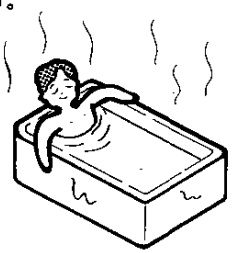
もくじ

●特長・機能のご紹介……1～3
●必ずお守りください……4～6
●各部のなまえ……7～10
　●機器本体……7
　●メインリモコン……8
　●風呂リモコン……9
　●サブリモコン……10
　●運転方法と操作手順……11
●ご利用のしかた……12～28
　●操作前の準備と確認……12
　●給湯・シャワー……13
　●お風呂のしたく……14～16
　●自動運転のしかた……17～18
　●「あつく」機能……19
　●「ぬるく」機能……20
　●「たし湯」機能……21
　●現在時刻の合わせ方……22
　●予約時刻の合わせ方……23
　●予約運転のしかた……24～25
　●ちょっとあつめの自動運転……26
　●ちょっとぬるめの自動運転……27
　●ちょっと多めの自動運転……28
●凍結予防のしかた……29～30
●点検とお手入れ……31
●故障かな?と思ったら……32～36
●仕様……37
●寸法図……38～40
●アフターサービス……41

特長・機能のご紹介

バスルーム 炭酸お湯はり

炭酸入浴により、温浴効果をさらに高めます。



P16参照

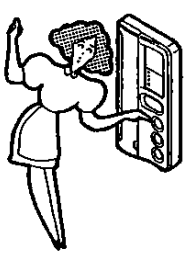
バスルーム 省エネ

年間約5400円のガス代が節約できます。

お湯はり(足し湯含む)300ℓ
お湯はり温度(足し湯含む)42℃
水温15℃・ガス代単価119.42円/㎥
(13A-B料金)・365日使用の当社実測値(当社同等品31-091との比較)

バスルーム 自動運転

スイッチ1つでお風呂が沸かせます/



P17～18参照

バスルーム 自動運転

ふたをしたまま自動お湯はり/

P17～18参照

特長・機能のご紹介

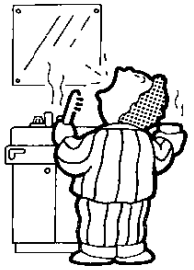
キッチン
給湯

食器の油汚れも、おっくうな冬場の洗いものも、温かいお湯でイッキョに解決！

●キッチンでの給湯のしかたについては
P13参照

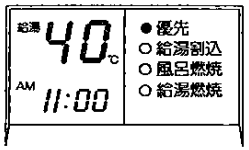
洗面所
給湯

寒い朝でも、温かいお湯で、気持ちをリフレッシュ！一日のはつらつスタート！！

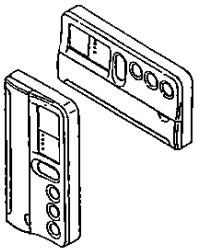


●洗面所での給湯のしかたについては
P13参照

シャワーの温度や時間が、見やすいデジタル表示！

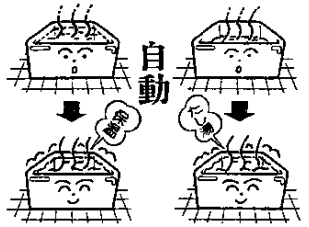


リモコンは斬新なフォルム！



バスルーム
自動保温たし湯

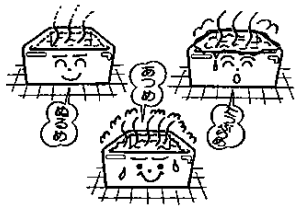
自動運転後、（4時間以内なら）お湯が冷めれば自動で保温、お湯が減れば自動でたし湯。いつも快適なお風呂に入れます！



●お風呂の自動保温たし湯については
P17~18参照

バスルーム
お風呂

気分にあわせてちょっと「ぬるめ」「あつめ」「たっぷり」のお風呂が楽しめます！



●お風呂については
P19~21参照

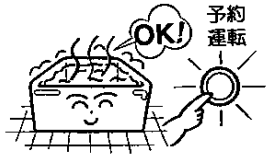
バスルーム
シャワー

オールシーズン好きなとき、好きなだけたっぷりのお湯で、さわやか全身シャワー！

●バスルームでのシャワーのしかたについては
P13参照

バスルーム
予約運転

お好きな時間にお風呂が沸きあがっている「お風呂予約」ができます！



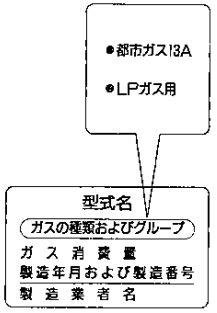
●予約運転については
P24~25参照

必ずお守りください

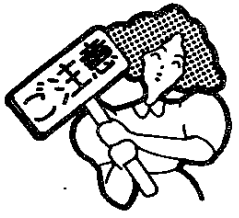
■ご利用前に

●使用ガスの確認

機器本体前面下部にはってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

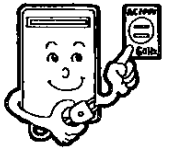


●転宅されたときにも、供給ガスの種類と機器銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。



●使用電源の確認

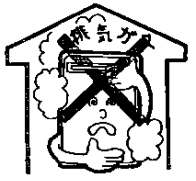
機器の銘板に表示してある電源(電圧・周波数)とお宅の電源の電圧と周波数が一致しているかをお確かめください。



●取付場所について

●壁、その他の可燃物から十分離れている場所で使用してください。

●屋外設置型ですので、屋内には絶対取付けないでください。
排気ガスが充満して危険です。



■ご利用時に

本器の用途について

台所・シャワー・洗面などの給湯および風呂のお湯はり・追いだき以外の用途には使用しないでください。

火傷にご注意

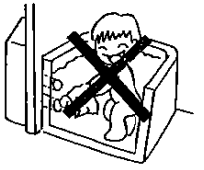
使用中および消火直後は、機器の排気口が高温になっていますので、絶対に手を触れないでください。
シャワーなど使用後すぐに再度お使いになるときは、手で湯温を確認してからお使いください。(一瞬熱いお湯が出ることがありますのでご注意ください。)

洗剤・入浴剤について

入浴剤や洗剤(特にイオウ・酸・アルカリを含んだ商品)は、機器の性能低下や熱交換器等の腐食の原因になる場合が有りますので、入浴剤の説明文及び含有成分等を十分確かめ、機器への悪影響が無いものをご使用ください。

過熱防止

●ふろがまと浴槽を接続している上下連結水管をタオルなどでふさがないでください。



火災予防

機器の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。

★特に、排気口は洗たく物などでおおわないでください。

飲用にお使いのとき

機器内に長時間たまった水は、飲用または調理に用いないでください。

市販の補助用具について

この機器の付属品・補助用具以外は使用しないでください。

■ご利用後に 点検・お手入れ

点検・お手入れを、必ず行ってください。

●詳しくは31ページをお読みください。

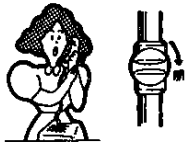
長期間使用しない場合

必ずガス栓を閉じ、電源プラグを抜いて、30ページの、機器の水を抜く方法を参照のうえ、水抜きを行ってください。

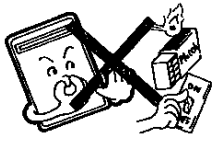
■異常時の処理

●ガス事故防止

●ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス栓を閉じ、お買上げの販売店又はもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。



●万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、電気器具に触れたり（スイッチの入、切や電源プラグの抜き差しなど）しないでください。火や火花で引火し爆発事故をおこすことがあります。



●落雷のおそれがある時

●落雷による一時的な過電流で、電子部品が故障することがありますので、雷が発生しているときは、ご使用を中止して、すぐに電源プラグを抜いてください。

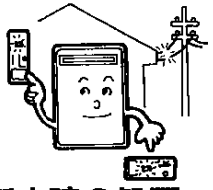
●その後、雷が遠ざかったことを確認してから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。

●停電時の処置

●停電すると自動的にガスが止まり、燃焼が停止します。

●再通電してもすべてのスイッチは「切」の状態になっています。12~28ページの「ご利用のしかた」にしたがって操作してください。

●時刻・予約時刻ともリセットされますので通電後22・23ページに従って再度、時刻・予約時刻を合せてください。また、お風呂の沸きあがり温度もリセットされますので、14ページに従って調節してください。



●断水時の処置

●断水時は給湯栓を閉じ、リモコンの運転スイッチを切っておいてください。

●再通水したときは、12~28ページの「ご利用のしかた」にしたがって操作してください。

●異常時の処置について

機器が使用中にふだんと違った状態になったときや、故障・異常が生じたときは、あわてないで、運転スイッチを「切」にして、ガス栓を閉じ十分な点検をしてください。

●詳しくは32~36ページの「故障かな？と思ったら」の項をお読みください。

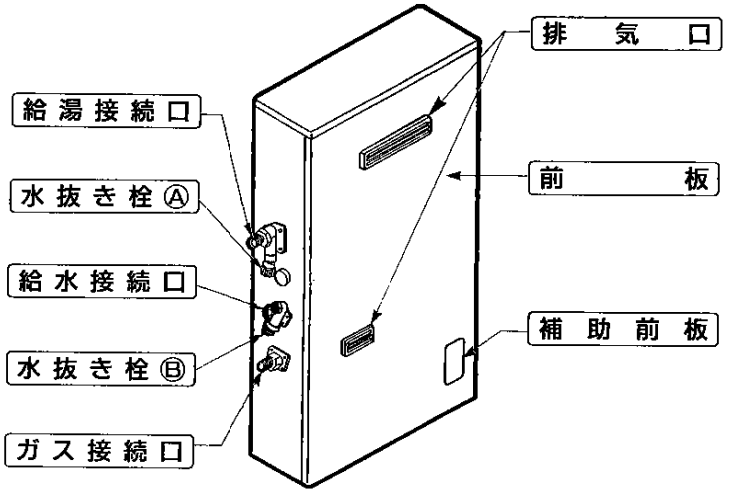
●凍結について

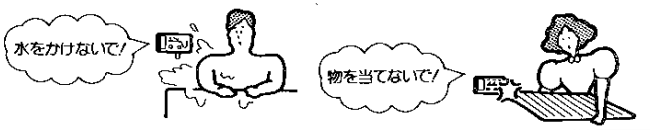
冬期は、寒冷地だけでなく、暖かい地方でも急な寒波のため機器および配管内の水が凍って、機器や配管を破損することがあります。

●詳しくは29・30ページをお読みください。

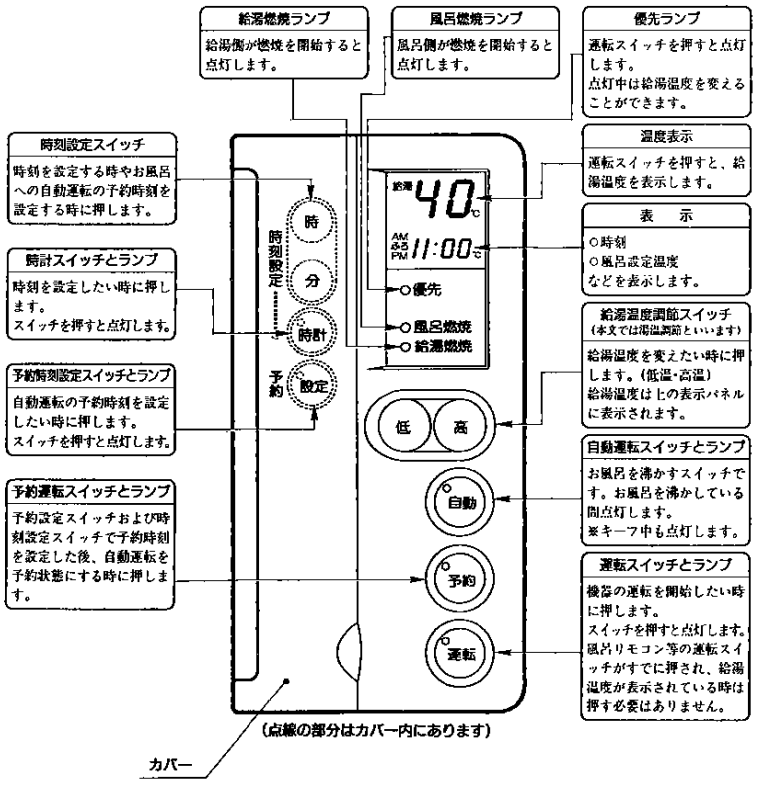
各部のなまえ

機器本体

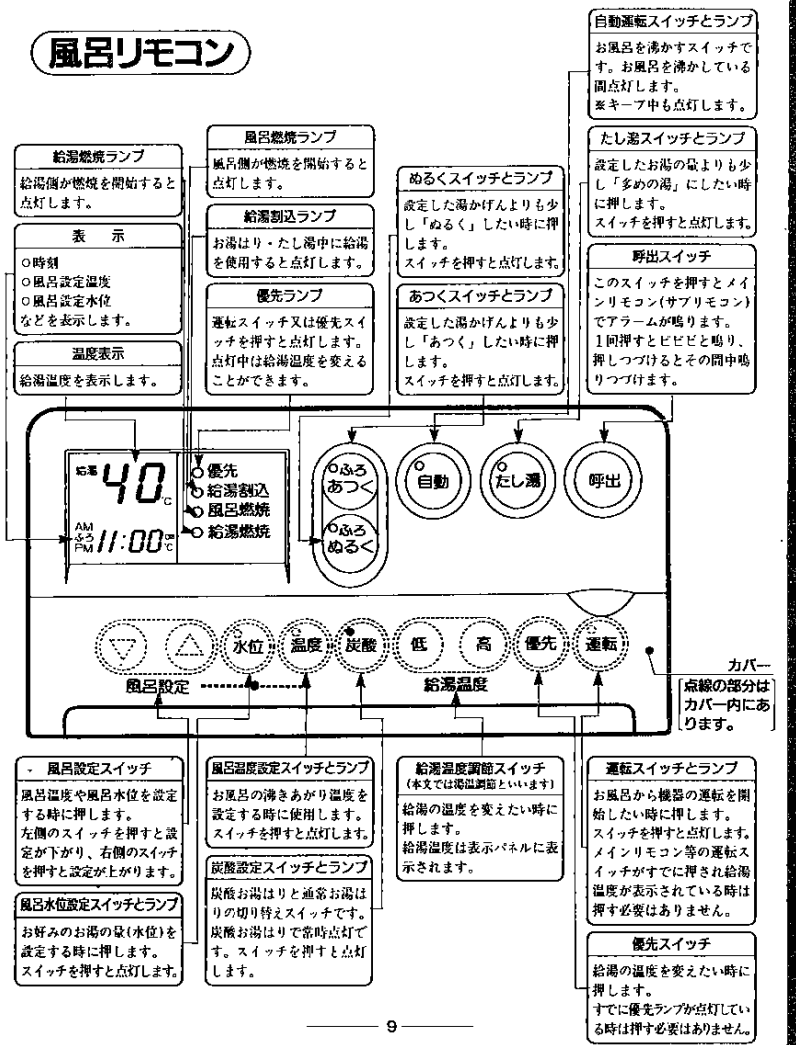




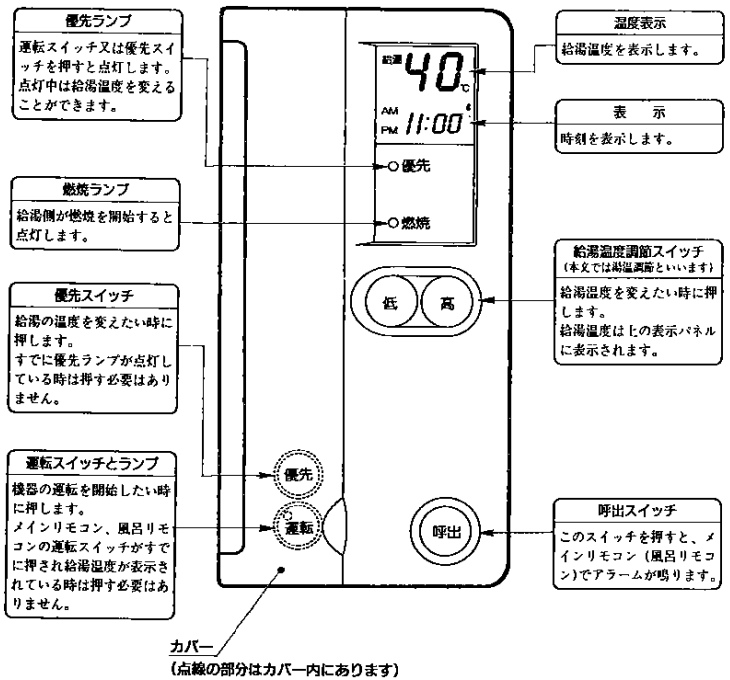
メインリモコン



風呂リモコン



サブリモコン（別売部品）



運転方法と操作手順

■リモコン操作方法

機　能	使用するリモコン	リモコン操作手順	参照ページ
① 給湯・シャワー温度設定	メインリモコン 風呂リモコン サブリモコン	運転（入）→ 優先ランプ点灯確認 → 低 高（設定）	13
② 風呂の自動運転	メインリモコン 風呂リモコン	運転（入）→ 自動（入）	17・18
③ 風呂あつく	風呂リモコン	運転（入）→ あつく（入）	19
④ 風呂ぬるく	風呂リモコン	運転（入）→ ぬるく（入）	20
⑤ 風呂たし湯	風呂リモコン	運転（入）→ たし湯（入）	21
⑥ 風呂の予約運転	メインリモコン	運転（入）→ 予約（入）予約時刻確認	24・25
⑦ 現在時刻設定	メインリモコン	時計（入）→ 時 分 設定	22
⑧ 予約時刻設定	メインリモコン	予約 設定（入）→ 時 分 設定	23
⑨ 風呂温度設定	風呂リモコン	温度（入）→ 低 ▼ ▲ 高 設定	14
⑩ 風呂水位設定	風呂リモコン	水位（入）→ 低 ▼ ▲ 高 設定	15

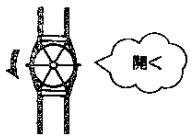
ご利用のしかた 初めてお使いいただくときに

操作前の準備と確認

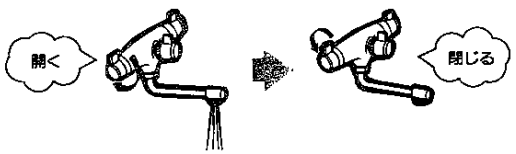
1 電源プラグをコンセントに差し込む

●リモコン運転スイッチは「切」の状態です。

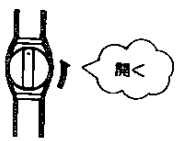
2 給水元栓を全開にする



3 給湯栓から水の出ることを確認



4 ガス栓を全開にする



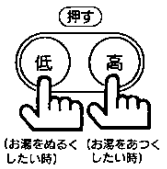
メインリモコン、風呂リモコン、サブリモコンで操作ができます。

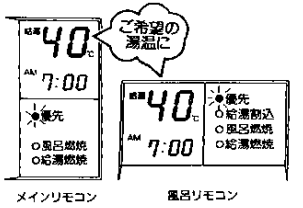
1 運転スイッチを押す

●リモコンの運転スイッチを押す。(メインリモコン、風呂リモコン、またはサブリモコンいずれかの運転スイッチを押す。)

2 湯温調節スイッチを押す

●優先ランプの点灯を確かめた後、お好みの温度に湯温調節を行ってください。





●使用するリモコンの優先ランプが点灯していない時は、優先スイッチを押して、優先ランプを点灯させてください。(メインリモコンに優先ランプを点灯させるには、メインリモコンの運転スイッチの「切」「入」の操作を行ってください。風呂またはシャワーなど使用中の時は、この操作はしないでください。)

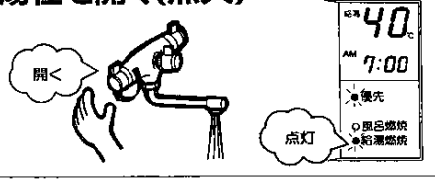
●表示される温度とお湯の温度とは配管条件等により多少異なることがあります。

湯温調節範囲

設定できる温度は37~50℃まで、1回押すと1℃づつ、また押し続けると50℃まで連続で変化します。それ以上は、60℃と75℃です。

●給湯温度を75℃に設定している時に、優先スイッチおよび運転スイッチの「切」「入」の操作をしますと、60℃設定になり、60℃・75℃設定時はアラーム報知で「高温」であることをお知らせします。

3 給湯栓を開く(点火)

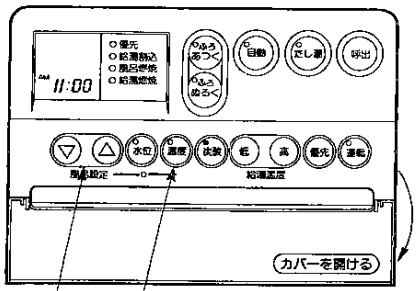


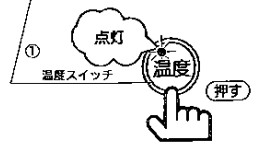
●自動運転(お湯はり)中の時は、お風呂の沸き上がり設定温度となり、出湯量も少なくなります。

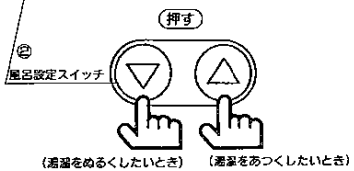
4 お湯を止める

●給湯栓を閉じる(消火)
燃焼ランプは消灯します。

1 お風呂の沸きあがり温度の調節（風呂リモコンで操作します）

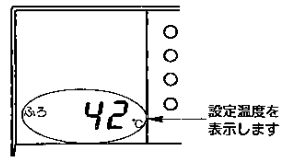






●風呂リモコンのカバーを開けます。

①温度スイッチを押す。

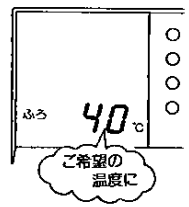


②温度を変えたいときは
温度スイッチを押して10秒以内
風呂設定スイッチを押す。

▽ 湯温をぬるくしたいとき

△ 湯温をあつくしたいとき

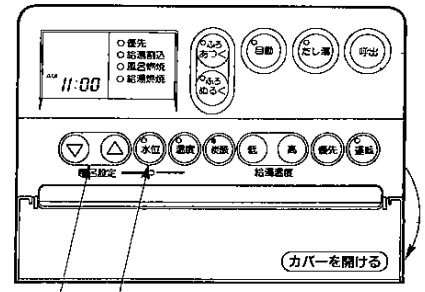
●設定できる温度は、37℃～48℃の12ステップです。
1℃ざみで1回押すと、1℃づつ変化します。
（温度表示は目安です）

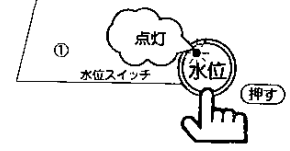


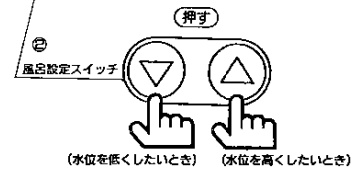
●数秒後設定表示は自動的に消えます。
●温度確認は再度温度スイッチを押す。

●お買い上げいただいたときには沸きあがりの温度は42℃に設定しています。このままでもご使用になれますが、お好みによって温度を変えることが出来ます。
●沸きあがり温度は浴槽により多少異ります。表示温度は目安としてお使いください。

2 お風呂のお湯の量（水位）の調節（風呂リモコンで操作します）

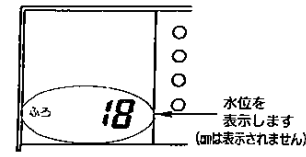






●風呂リモコンのカバーを開けます。

①水位スイッチを押す。



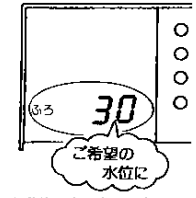
●設定できる水位は上部循環口（機器側）中心から約10cm～約48cm（2cmきざみ）の20段階です。
●表示の数字は機器側の上部循環口中央からの水位（cm）を示します。
（水位表示は目安です）

②水位を変えたいときは、水位スイッチを押して、10秒以内に風呂設定スイッチを押す。

▽ 水位を低くしたいとき

△ 水位を高くしたいとき

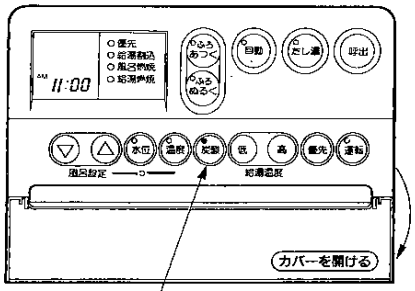
●風呂設定スイッチを1回押すごとに水位は約2cm変化します。また、押しつづけると連続的に水位が変わります。



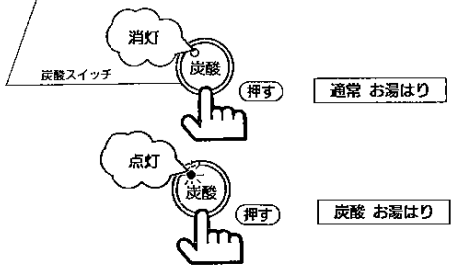
●数秒後に水位表示は自動的に消えます。
●水位確認は再度水位スイッチを押す。

●お買上げいただいたときには水位は上部循環口（機器側）中心から、上約18cmに設定されています。このままでもご使用になれますが、お好みによって水位を変えることができます。
●設定された水位は、運転スイッチを「切」った後でも、また停電後でも、機器が記憶していますので、水位を変更される時以外、操作は必要ありません。

3 炭酸お湯はりと通常のお湯はりの切り替え

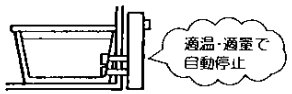


●風呂リモコンのカバーを開けます。
炭酸スイッチのランプは点灯中です。
(炭酸お湯はりを表示しています。)
①通常のお湯はりを行う場合は、炭酸スイッチのボタンを押してください。
②炭酸ランプが消灯します。
(通常お湯はりを表示しています。)
③再度、炭酸スイッチのボタンを押すと点灯して、炭酸お湯はりに切り替わります。



●自動運転時のご注意

自動運転にてお湯はりをしますと、浴槽内に炭酸ガスが含まれます。
炭酸入浴により温浴効果をさらに高めます。
★ぬるめの温度設定でゆっくり入浴してください。お湯はりしてから2時間以内に入浴すると効果的です。
★前日の残り湯では、炭酸効果はありませんので、炭酸風呂に入りたい時は、残り湯を捨て、再度自動運転をしてください。
★万一、お肌に合わない場合は、炭酸お湯はりをおやめいただき、風呂リモコンにて、炭酸お湯はりから、通常のお湯はりに切り替えてください。
(風呂リモコンの操作の項をお読みください。)

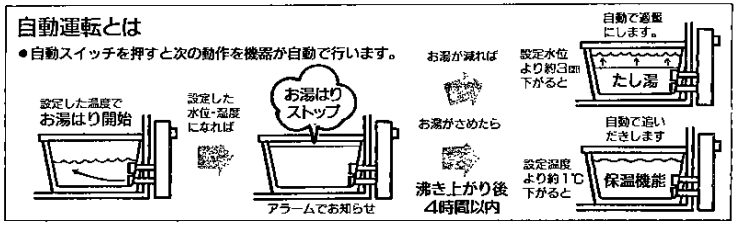


●浴槽の排水栓を閉じてください。
●浴槽にフタをしてください。

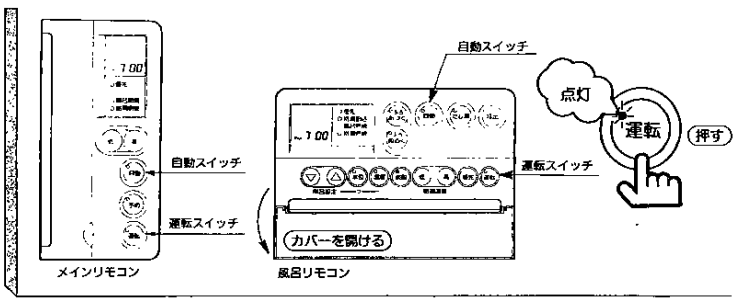
知っておきたいこと

自動運転とは

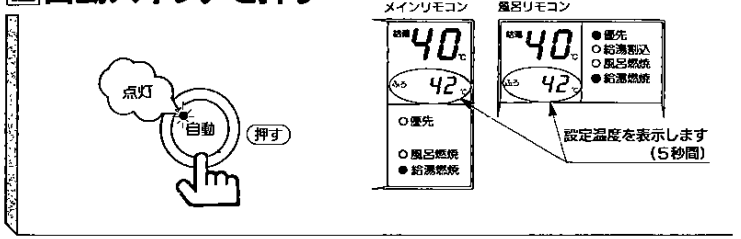
●自動スイッチを押すと次の動作を機器が自動で行います。



1 運転スイッチを押す (メインリモコンまたは風呂リモコンで操作できます)



2 自動スイッチを押す



●給湯・シャワー中のときに、自動運転(お湯はり)をされますと自動運転(お湯はり)は待機状態となり、給湯栓・シャワーを閉じると自動運転(お湯はり)が開始されます。又、風呂リモコンには給湯割込が点灯します。

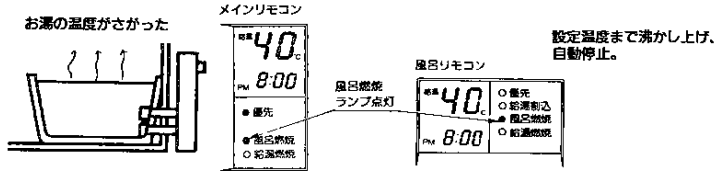
3 お風呂が沸きあがるとアラームが鳴り自動でストップします

- 設定された温度で、設定された水位までお湯はりし自動的に停止します。(停止しますと各リモコンからアラームでお知らせします。)
- 同時に自動保温、自動たし湯の準備になります。
- 自動ランプは自動保温たし湯中(4時間)点灯しています。

4 お湯の温度がさがったら自動的にあたためます

お湯の温度がさがったら、約20分ごとに自動的にあたためる(保温機能)がついています。

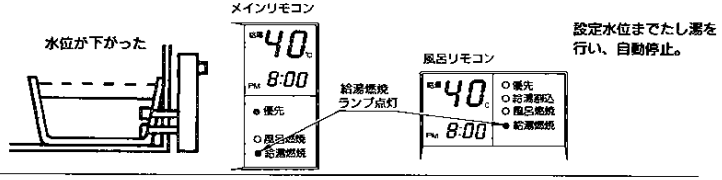
- この機能は、アラーム報知後4時間はたらきます。



5 お湯が減れば自動的にたし湯します

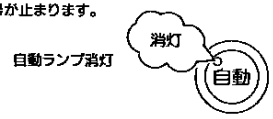
お湯が減ると自動的に元の量(水位)までたし湯します。

- この機能も、アラーム報知後4時間はたらきます。



6 アラーム報知後4時間たつと自動ランプが消えます

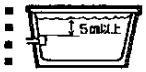
- 自動保温、自動たし湯が止まります。



ご注意
❶途中で停止させたいときには、メインリモコンまたは風呂リモコンの自動スイッチを押してください。
❷前回の残り湯を使用して、お風呂を沸かす場合は、自動スイッチを押して(自動運転で)沸かしてください。
❸残り湯が設定水位以上あるときは、自動たし湯はしません。
❹浴槽水の排水時、釜洗浄のため、連絡水管より約4Lの水が排出されます。

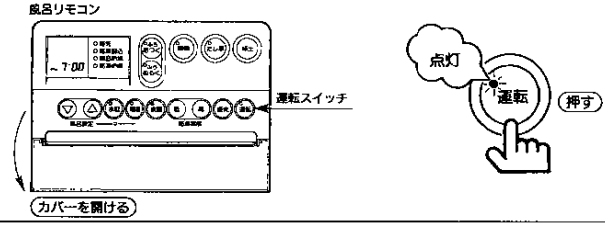
- ちょっと「あつめ」のお風呂にしたいときに使用します。

ご注意 浴槽に湯(水)が入っているか確認してください。
浴槽の湯(水)が上部循環口の上より5cm以上、上にあるようにしてください。

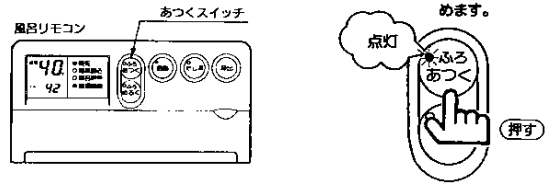


- 風呂リモコンで操作します。

1 運転スイッチを押す

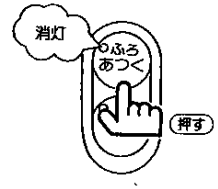


2 あつくスイッチを押す



3 停止

- 現在の湯温より約2℃お湯の温度があがり、自動的に止まります(浴槽の湯の温度が設定温度よりも2℃以上低いときは設定温度で止まります。)(あつくランプ消灯)
- 途中で停止するときは、「あつく」スイッチを押してください。
- 終了後は、かくはんのため、ポンプが約15秒間回ります。

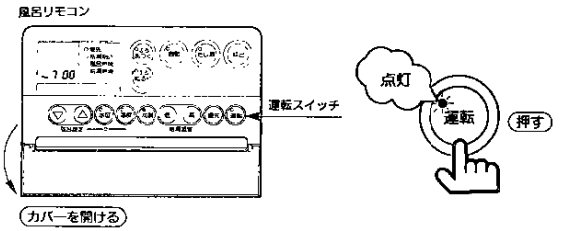


- 自動保温中にあつくスイッチを押した場合、自動ランプは点灯したままです。

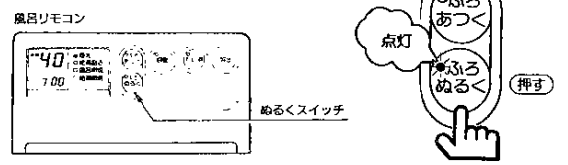
ご利用のしかた「ぬるく」機能

●ちょっと「ぬるめ」のお風呂にしたいときに使用します。
●風呂リモコンで操作します。

1 運転スイッチを押す



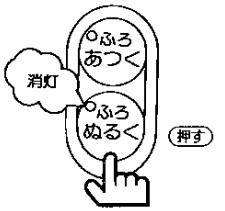
2 ぬるくスイッチを押す



3 停止

●浴槽内に約100ℓの水が注水され、自動的に停止します。（ぬるくランプ消灯）
●途中で停止するときは、ぬるくスイッチを押してください。
●終了後は、かくはんのため、ポンプが約15秒間回ります。

●自動保温中にぬるくスイッチを押した場合、自動ランプは点灯したままです。

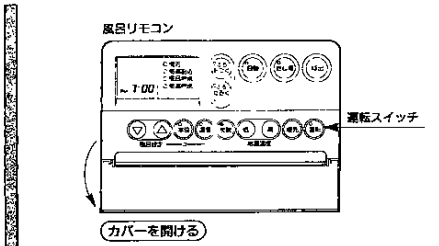


ご注意 「ぬるく」は給湯（シャワー）使用中は使用できません。また、給湯（シャワー）使用中に「ぬるく」を押しても受けつけません。また、「ぬるく」中に給湯を使用されると「ぬるく」は解除されます。「ぬるく」使用中または「ぬるく」使用後に給湯（シャワー等）を使用すると一時湯温変化することがあります。

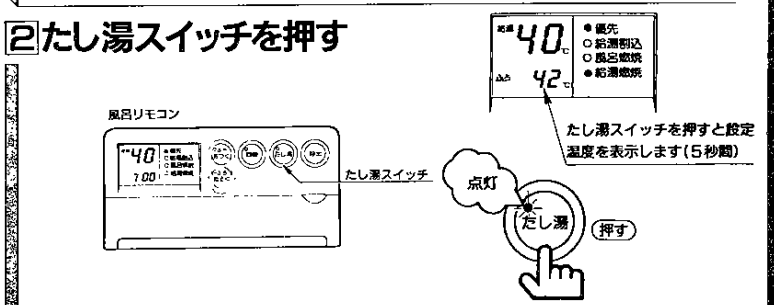
ご利用のしかた「たし湯」機能

●ちょっとお風呂の湯の量を多くしたいときに使用します。
●風呂リモコンで操作します。

1 運転スイッチを押す



2 たし湯スイッチを押す



3 停止

●風呂設定温度のお湯を約3cmたし湯をし、自動で止まります。（たし湯ランプ消灯）
●途中で停止するときは「たし湯」スイッチを押してください。

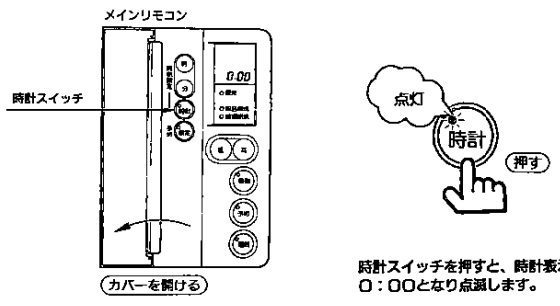
●自動保温中にたし湯スイッチを押した場合、自動ランプは点灯したままです。
●「たし湯」中に「給湯」を使用すると「たし湯」は、一時停止します。

ご利用のしかた 現在時刻の合わせ方

ご注意 約5分以上の停電後は、メインリモコンの時計表示が0:00表示に戻り、他のリモコンの時計表示は消えます。再度時刻合わせをしてください。

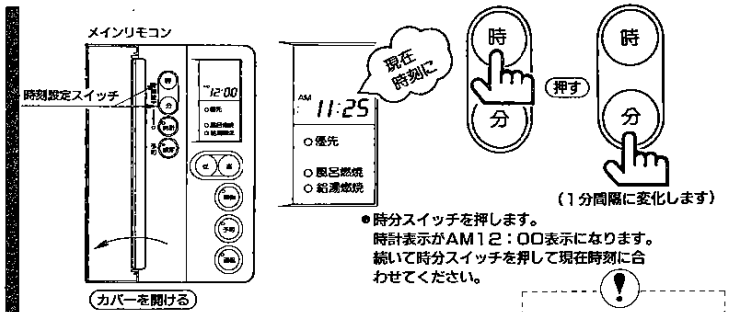
●メインリモコンで操作します。

1 時計スイッチを押す



時計スイッチを押すと、時計表示が0：00となり点滅します。

2 時刻設定スイッチ(時、分スイッチ)を押す



●時分スイッチを押します。
時計表示がAM12：00表示になります。
続いて時分スイッチを押して現在時刻に合わせてください。

AM(午前)とPM(午後)を間違わないようにご注意ください。

●時分スイッチを押し続けると連続的に数字が変わります。

ご注意 ❶時刻設定の操作を10秒以上おこなわないと、自動的に時間をきざみ始めます。
❷メインリモコンで時刻を設定すると、風呂リモコン・サブリモコンにも時刻が表示されます。

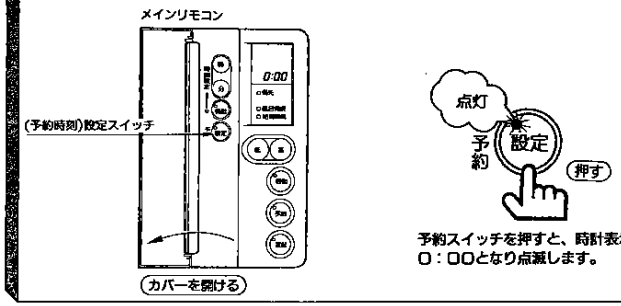
ご利用のしかた 予約時刻の合わせ方

●お風呂の沸きあがり時間を設定できます。

ご注意 約5分以上の停電後は、メインリモコンの時計表示が0:00表示に戻り、他のリモコンの時計表示は消え予約時刻も解除されます。再度現在時刻・予約時刻合わせをしてください。

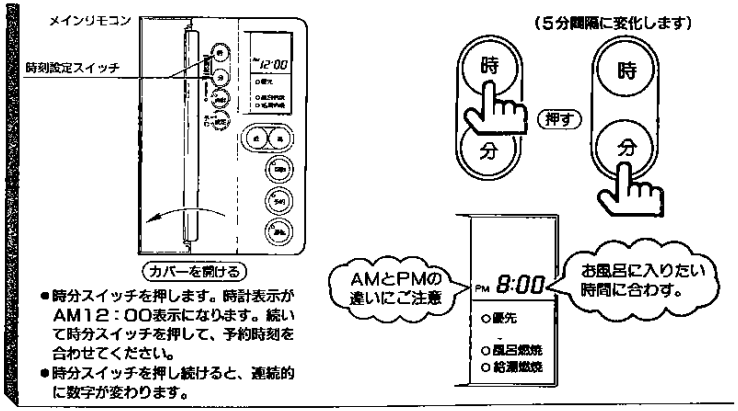
●メインリモコンで操作します。

1 (予約時刻)設定スイッチを押す



予約スイッチを押すと、時計表示が0：00となり点滅します。

2 時刻設定スイッチ(時、分スイッチ)を押す



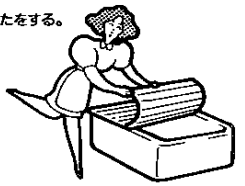
●時分スイッチを押します。時計表示がAM12：00表示になります。続いて時分スイッチを押して、予約時刻を合わせてください。
●時分スイッチを押し続けると、連続的に数字が変わります。

ご注意 ●予約時刻設定の操作を10秒以上おこなわないと、自動的に時間をきざみ始めます。

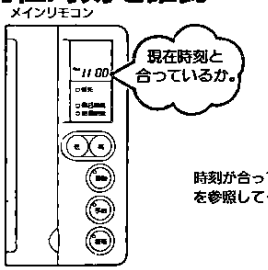
1 予約運転の準備と確認

●排水栓を閉じる。

●お風呂のふたをする。



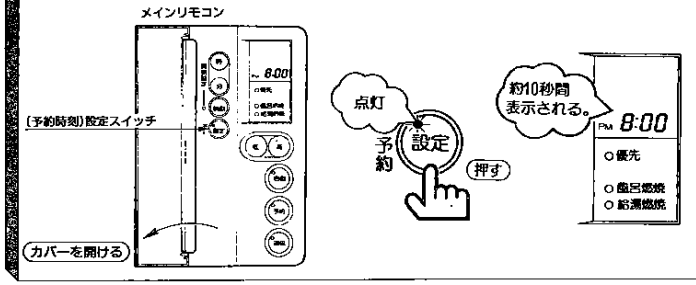
2 現在時刻を確認



時刻が合っていない時はP22"現在時刻の合わせ方"
を参照してください。

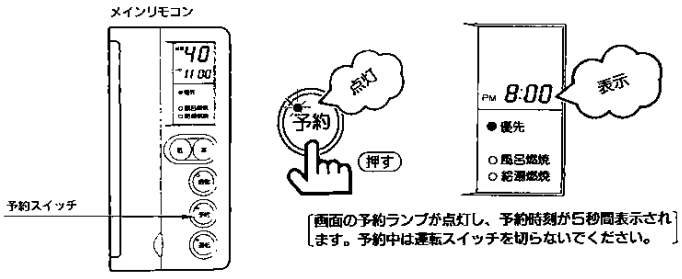
3 予約時刻を設定する

●23ページ"予約時刻の合わせ方"を参照してください。
（お風呂に入りたい時刻に合わせてください。）
●何時に設定したかを確認する場合は（予約時刻）設定スイッチを押してください。
（画面に約10秒間表示されます。）



4 運転スイッチを押す

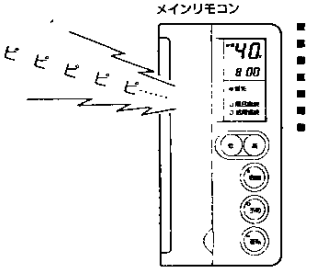
5 予約スイッチを押す



画面の予約ランプが点灯し、予約時刻が5秒間表示されます。予約中は運転スイッチを切らないでください。

●予約時間前に自動運転に入ります。（予約ランプ消灯、自動ランプ点灯）

6 予約運転完了になるとアラームが鳴り、自動運転の（お風呂の沸きあがり）完了を知らせます



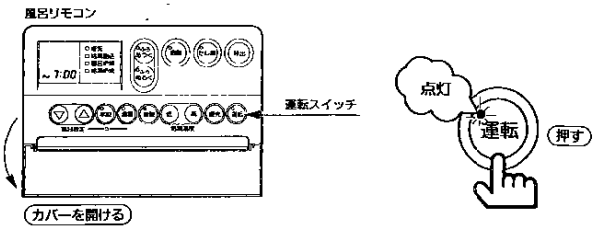
ご注意
●予約運転中（お湯はり）に給湯を使用しますと、予約運転が一時停止するため、自動運転完了が遅れます。

●アラーム報知後、4時間の自動保温、自動たし湯準備に入ります。
●自動ランプは、保温中（4時間）点灯しています。
●予約時間と完了時間は数分異なる場合があります。

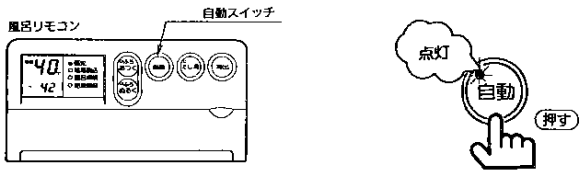
ご利用のしかた ちょっとあつめの自動運転

●ふだんのお風呂の沸かしあげ温度よりも、ちょっとあつめに沸かしあげたい時にご利用ください。

1 風呂リモコンの運転スイッチを押す

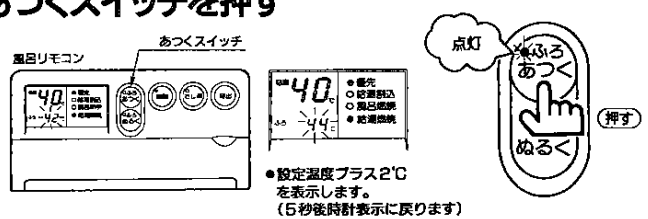


2 自動スイッチを押す



●設定温度を表示します。(5秒後時計表示に戻ります)

3 あつくスイッチを押す



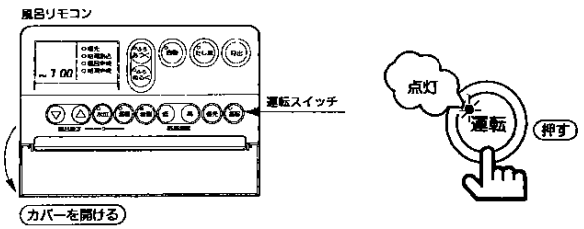
●設定温度プラス2℃
を表示します。
(5秒後時計表示に戻ります)

ご注意 ふだんの沸かしあげ温度よりも、約2℃高くなります。

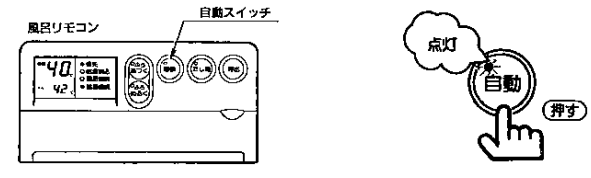
ご利用のしかた ちょっとぬるめの自動運転

●ふだんのお風呂の沸かしあげ温度よりも、ちょっとぬるめに沸かしあげたい時にご利用ください。

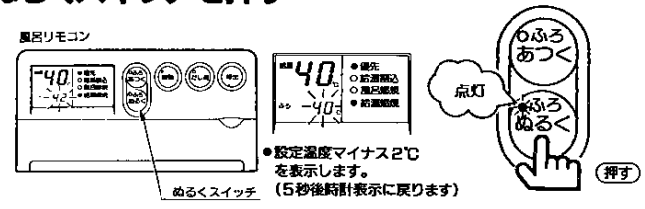
1 風呂リモコンの運転スイッチを押す



2 自動スイッチを押す



3 ぬるくスイッチを押す

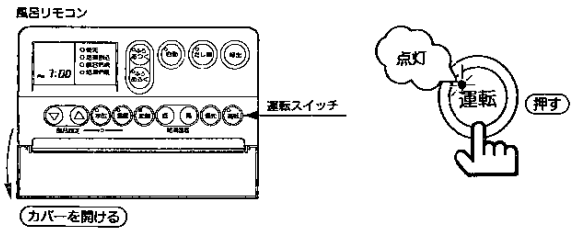


●設定温度マイナス2℃
を表示します。
(5秒後時計表示に戻ります)

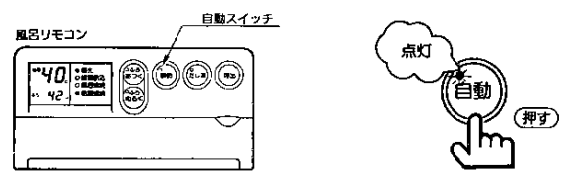
ご注意 ふだんの沸かしあげ温度よりも、約2℃低くなります。

●ふだんのお風呂のお湯の量(水位)より、ちょっと多めに沸かしあげたい時にご使用ください。

1 風呂リモコンの運転スイッチを押す

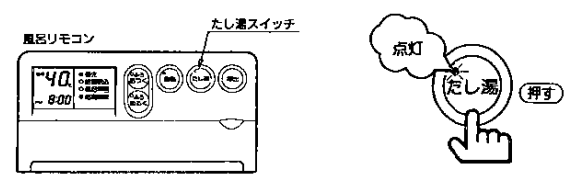


2 自動スイッチを押す



●設定温度を表示します。(5秒後時計表示に戻ります)

3 たし湯スイッチを押す

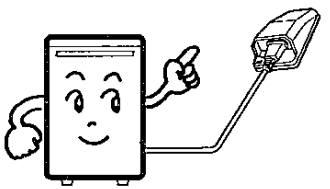


ご注意 ふだんの水位より3cm高く沸かしあげます。

凍結予防のしかた

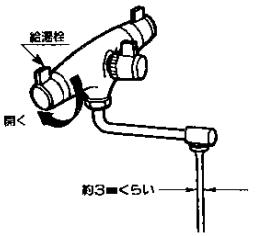
●凍結したまま使用されますと機器に異常が生じる場合があります。凍結がとけた後、各部分の作動を確認の上、ご使用ください。
●凍結による修理は、保証期間内でも有料となっております。

A 凍結予防装置(ヒータ)による方法



●この機器には、外気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防装置(ヒータ)を組み込んでいます。
●凍結予防装置(ヒータ)は電源プラグを抜くと作動しません。緊急の時以外は、電源プラグを抜かないでください。
●凍結予防装置(ヒータ)は、メインリモコン又は風呂リモコンの運転スイッチ「入・切」に関係なく作動します。

B 水を流す方法(一般的な方法)



●ガス栓を開け、メインリモコン又は、風呂リモコンの運転スイッチを「切」にして、お風呂場の給湯栓を開け、1分間に約200cc(牛乳びん1本分ぐらい)の水を流してください。
●流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後にもう一度流量をお確かめください。

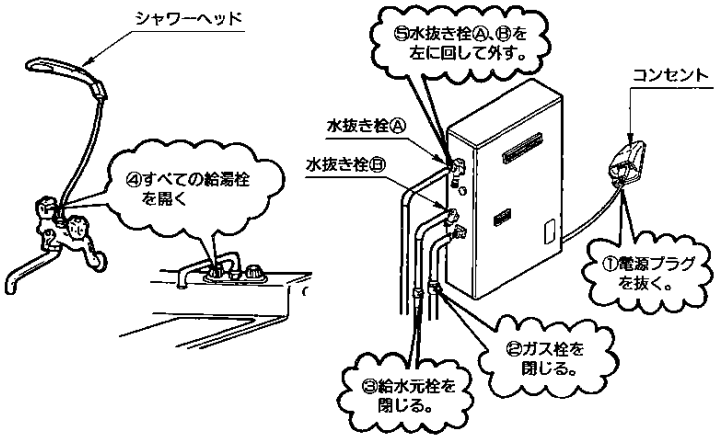
外気温が極端に低く(庭のたまり水など凍るおそれのある日)なりますと、Aの凍結予防装置(ヒータ)だけでは効果ありません。このような場合は、BまたはCの方法を行ってください。又外気温が低くなるおそれのあるときは、浴槽のお湯を最後の人が入浴した後必ず排水してください。

ご注意
●凍結予防装置(ヒータ)は電源プラグを抜くと作動しません。機器の水を抜いて凍結予防処置を行うとき、または緊急の時以外は電源プラグを抜かないでください。

C 機器の水を抜く方法(入居前や長期不在の場合)

〔給湯側〕

●この方法は、給水配管の凍結予防は出来ませんが、機器の破損を予防するには最もよい方法です。次の①～⑤の手順により機器内の水を抜いてください。
以上、次にお使いになるまで、そのままにしておいてください。



●再度、ご使用のときの手順
①水抜き栓Ⓐ、Ⓑをしっかりと取付けてください。
②すべての給湯栓を閉じてください。
③12ページの「操作前の準備と確認」に従ってください。

〔風呂側〕

①浴槽の水を排水する
※風呂側の水抜きを行った後は浴槽に水を落し込まないでください。

※現場施工の状況により、「凍結予防装置(ヒータ)による方法」や「機器内の水を抜く方法」では、配管部分の凍結まで予防できない場合がありますので、必ず保温材を巻くなどの処置をしてください。

点検とお手入れ

■点検とお手入れ

●点検・お手入れの際のご注意

●点検・お手入れの前には必ずガス栓を閉じ、リモコンの運転スイッチを「切」にして機器が冷えてから行ってください。
●機器の前板などははずさないでください。
[機器やリモコンは絶対に分解しないでください。]
●お手元に十分ご注意して行ってください。

●定期点検のおすすめ

❶ご使用上支障がない場合でも、安全により長くご使用いただくために、2～3年に1回程度の定期点検をおすすめします。
❷本製品は一般家庭用の製品です。
業務用にご使用の場合は機器を正常にお使いいただくために、定期点検(年2回程度)をお受けください。(有償)
詳しくは、お買上げの販売店又はもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

●お手入れ

1 前板のそうじ

機器本体・リモコンの表面が汚れたときは、やわらかい布に台所用洗剤(中性洗剤)をつけてふき取ってください。シンナー・ベンジンなどではふかないでください。

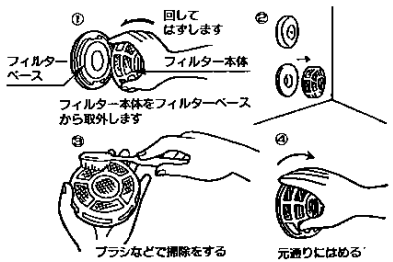
リモコンの内部には電気部品が入っていますので、ぬらさないようにしてください。

2 水フィルターのそうじ

水フィルターに配管内のゴミ、砂がたまりますとお湯が出にくくなります。その場合は給水元栓を閉じ、給水水抜き栓Ⓑを左に回して水フィルターを引き出してそうじしてください。

3 浴槽フィルターのそうじ

浴槽内のフィルターを外し、月に1回程度そうじしてください。
※なおフィルターのそうじをしたあとは必ずもとのように取付けてください。
取付は下部箱環口です。



●点検・お手入れ後の確認

●点検・お手入れの後は、運転スイッチを、「入」にして、給湯栓を開き、機器が正常に作動しているか確認してください。万一、異常音、異臭を感じられたときは、お買上げの販売店又はもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

故障かな?と思ったら

こんな場合は異常ではありません。

こんな場合	理由
給湯栓を開いてもすぐお湯が出てこない。	機器から給湯栓までは、距離がありますので、お湯が出てくるまでには、少し時間がかかります。
燃焼ランプが点滅する。	初回点火時や長時間使用しなかった後は、ガス配管中に空気が入っていることがあり、バーナに着火しないときがあります。 一旦給湯栓を閉じて約5秒間待ち再び給湯栓を開いてください。
給湯栓を絞りすぎて水になった。	この機器は、水量が2.5ℓ/㎞以下になったときには消火します。
低温のお湯が出ない。	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとすると、湯温が高くなります。給湯栓をもっと開いて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
お湯が白く濁って見える。	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違い全く無害なものです。
排気部から白煙が出る。	外気温が低い時には排気ガスの水蒸気が白煙となりますが故障ではありません。
出湯停止後もファンの回転音がする。	再使用時の点火をより早くするため数分間回転しています。
かくはんのためポンプが回わる。	「あつく」「ぬるく」運転終了後、かくはんのためポンプが約15秒間回ります。
予約ランプが消えている。	予約スイッチを入れても予約した時刻になる前にあつく、ぬるく、たし湯スイッチを押すと、予約は解除されますのでご注意ください。
パネル表示が0：00になっている。	停電後、再通電するとパネルの時計表示が0：00になります。 再度設定をしてください。
給湯温度設定が、75℃のとき60℃に切替わる。	それぞれのリモコンは前回設定した給湯温度を記憶していますが、75℃は運転スイッチを切ったり、優先ランプが一度消えたり（他のリモコンに優先ランプが点灯したり）するとやけど防止のため60℃に切替わります。
風呂リモコンのgn・ℓわ表示されない。	この機器では、これらの表示は使いません。
お湯はり、追いだき開始時「ボコッ」という音がする。	配管中の空気が風呂アダプタより1～2秒間出てくる音で異常ではありません。
給湯水抜き栓(水抜き栓Ⓐ)から水がポタポタ出る。	給湯栓を閉じた直後、一時的に水抜き栓Ⓐ(過圧防止安全装置付)から、水がポタポタ出ることがありますが、機器内部の圧力を下げるためで異常ではありません。
浴槽水の排水時、連結水管より水が出てくる。	釜洗浄のため約4ℓの水を流していますので異常ではありません。

故障かな?と思われたらただちに使用を中止し、一度つぎのことをお調べください。

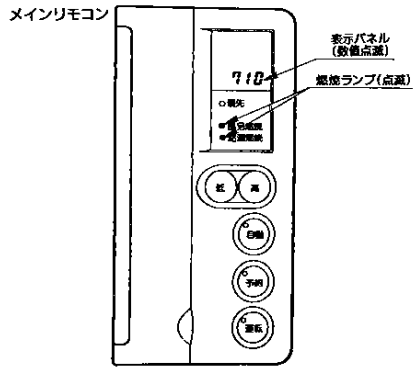
故障表示(OKモニター)しない不具合と、その処置方法

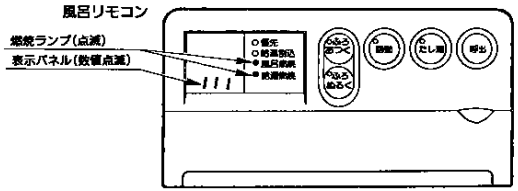
お調べいただくこと(原因) ＼ こんなとき(現象)	着火しにくい。給湯栓を開いても着火しない。	使用中に消火した、消火しやすい。	使用中、湯温が極端に変動する。	高温の湯が出ない。	優先ランプが点灯しない。	風呂が沸かない、沸きがおそい。	過圧逃し弁から常時水がでる。	処置方法	参照ページ
ガス栓の開きふじゅうぶん。			○	○		○		電源を切ってからガス栓を全開にする。	12
給水元栓の開きふじゅうぶん。	○	○	○			○		給水栓をいったん閉じてから給水元栓を全開にする。	12
水圧が適切でない。	○	○	○			○	○	点検、修理を依頼する。(他に原因がないとき。)	—
ホフィルターのつまり。	○	○	○			○		つまり除去又は点検、修理を依頼する。	31
断水している。	○	○						使用をいったん中止する。	6
凍結している。	○							解凍するまで使用を中止する。	—
湯温調節が適切でない。				○				「給湯・シャワーのしかた」参照。	13
給湯栓の開き不足。	○	○	○					給湯栓を全開にする。	12
停電している。	○	○			○	○		「停電時の処置」参照。	6
漏電安全装置が作動している。	○	○			○	○		「故障かな?と思ったら」参照。	36
リモコンの優先スイッチを押していない。					○			「給湯・シャワーのしかた」参照。	13

●処置や原因がわからないときや、このほかに異常のある時は、お買上げの販売店又はもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

■故障表示(OKモニター)について

●風呂リモコン、メインリモコン、サブリモコンには、機器本体に不具合が生じた時、各種ランプの点滅によって、不具合の原因を知らせる故障表示(OKモニター)機能が付いていますので、メンテナンスのスピード化に役立ちます。





●不具合が発生すると、図のように燃焼ランプが点滅しはじめ、表示パネル中に数値が表示点滅します。

●表示パネルにどのような数値が表示されているか確認してください。

●次頁に故障表示(OKモニター)番号を記載していますので、表示された数値と一致する番号をさがしてください。

(例)

●図のように表示パネルが710と表示しているときは、故障表示(OKモニター)の「電装基板異常」が原因であることが判ります。

●故障表示(OKモニター)

パネル表示	内　　容	処　置　方　法
030	浴槽排水栓の抜け、浴槽あふれ	浴槽排水栓をしっかりしめて、運転スイッチをいったん「切」、再操作
051	給湯ファン吸気閉塞不具合	※
111	給湯バーナ不着火	ガス栓を全開にして、運転スイッチをいったん「切」、再操作
112	風呂バーナ不着火	ガス栓を全開にして、運転スイッチをいったん「切」、再操作
121	給湯バーナ失火	ガス栓を全開にして、運転スイッチをいったん「切」、再操作
122	風呂バーナ失火	ガス栓を全開にして、運転スイッチをいったん「切」、再操作
140	ハイリミットまたは温度ヒューズ作動	※
160	排気流入	※
161	給湯サーミスタ高温検出(85℃以上) ミキシングサーミスタ高温検出(75℃以上)	運転スイッチをいったん「切」、再操作
162	風呂サーミスタ高温検出(55℃以上)	運転スイッチをいったん「切」、浴槽の湯をぬるくしてください。再操作
311	給湯サーミスタ不具合	※
321	給水サーミスタ不具合	※
330	排気サーミスタ不具合	※
342	風呂サーミスタ不具合	※
351	ミキシングサーミスタ不具合	※
352	混合サーミスタ不具合	※
430	水位電極1(Lo)不具合	※
432	水位センサー不具合	運転スイッチをいったん「切」、再操作
440	水位電極2(Hi)不具合	※
541	お湯はり電磁弁不具合・フィルターづまり	※
581	給湯ガス電磁弁不具合	※
582	風呂ガス電磁弁不具合	※
611	給湯ファン不具合	※
612	風呂ファン不具合	※
661	ミキシングバルブ不具合	※
710	電装基板不具合	※
721	給湯疑似火炎あり	※
722	風呂疑似火炎あり	※
760	2心通信不具合	※

●処置後も故障表示をくり返すときや上記以外の表示、また※印の場合はお買上げの販売店又はもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

安全装置の種類とそのはたらき

❶立消え安全装置
万一使用中にバーナの炎が消えたときは、この安全装置が働いて自動的にガスを止める装置です。

❷過熱防止装置
使用中機器本体内の温度が異常に高くなったときは、この安全装置が働いて自動的にガスを止める装置です。

❸空だき安全装置
熱交換器が異常な温度上昇をしたときは、この安全装置が働いて自動的にガスを止める装置です。

❹過昇温安全装置
この安全装置が作動しても故障ではありません。使用の際に、湯量を極端に絞ったり水圧が低いときに湯温が過度に上昇することがあるため、過昇温防止装置を設けてあります。湯温が約95℃以上になるとこの装置が働いて、自動的に消火します。

❺漏電安全装置(漏電しゃ断器)
この機器は、万一漏電した場合に漏電安全装置が働いて使用できなくなります。この場合、電源コードのプラグを一度抜き差ししてからご使用ください。再度同じ現象が起きたときは、お買上げの販売店又はもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

❻過圧防止安全装置(過圧逃し弁)
給湯栓を閉じた直後に熱交換器の余熱により、熱交換器内の圧力が高くなり過圧防止安全装置(過圧逃し弁)が作動して水がポタポタ出ることがありますが、機器の故障ではありません。この様な場合には床面をぬらしますので不都合が生じるときには過圧防止安全装置(過圧逃し弁)の排水処理が必要です。お買上げの販売店又はもよりの大阪ガス支社にご相談ください。

❼凍結予防装置
29・30ページの「凍結予防のしかた」の項をごらんください。

ご注意 空だき安全装置が作動する際には、機器の損傷を防ぐため過圧防止安全装置(過圧逃し弁)が作動し高温の蒸気が噴出しますので、ご注意ください。

仕様

品名		ガス風呂給湯器(自然循環タイプ)ゆうゆう24
商品コード		31-007
型式名		YW2403X
種類	給(出)湯方式	先止め式
	給排気方式	屋外式
点火方式		連続スパーク点火、ダイレクト着火
最低作動水量		2.5ℓ/分(作動水圧給湯0.15、湯はり0.20kgf/㎠)
排気温度		260℃以下
外形寸法		1000㎜×550㎜×188㎜
重量(本体)		45kg
接続	給水	20A(R3/4)
	給湯	20A(R3/4)
	ガス	LP:15A(R1/2)、13A:20A(R3/4)
	連結水管	φ45㎜×ピッチ100㎜
電気	使用電源	AC100V
	消費電力60Hz	160W
	凍結予防運転時	175W
安全装置		立消え安全装置(フレームロッド方式) 水量センサー、過熱防止装置、空だき安全装置 過昇温安全装置、過圧防止安全装置(過圧逃し弁)、漏電安全装置(漏電しゃ断器) 凍結予防装置(水抜き栓、凍結予防ヒータ)
付属部品		●風呂リモコン ●メインリモコン ●壁貫通パイプセット ●配管継手 ●転倒防止金具 ●フィルターセット ●接続ゴム管 ●接続ゴム管止め
別売部品		●サブリモコン

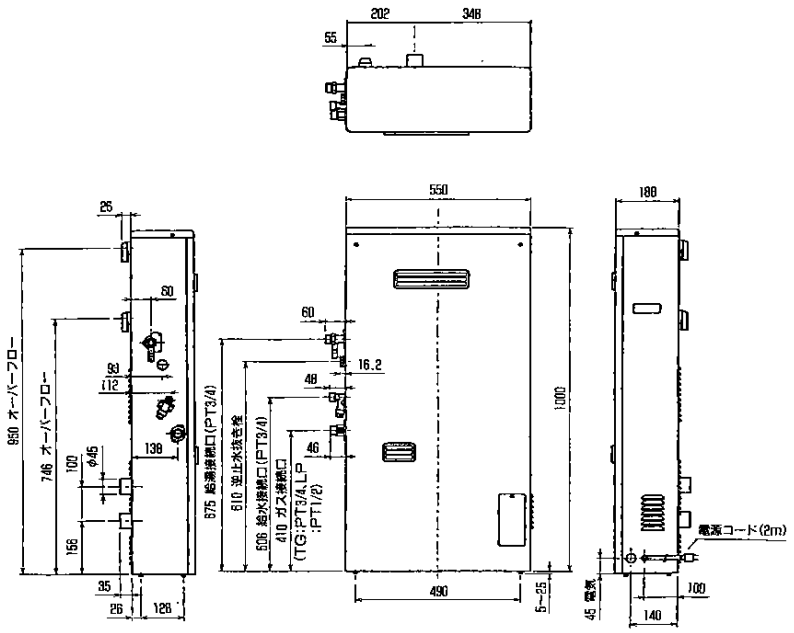
ガスの種類およびグループ		1時間当りのガス消費量(kcal/h)			出湯能力ℓ/分(ガス消費量最大時)	
					上昇温度	
		同時使用時	給湯	ふろ	25℃	40℃
都市ガス	13A	57,000	45,000	12,000	24.0	15.0
LPガス		4.75kg/h	3.75	1.0	24.0	15.0

備考 ●ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。
●出湯能力は給水圧力1.5kgf/㎠のとき。

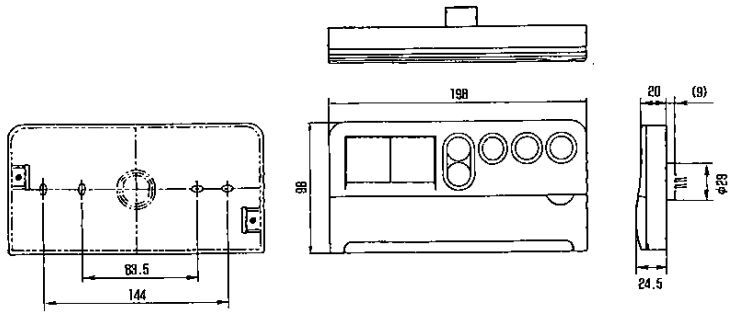
寸法図

■機器本体

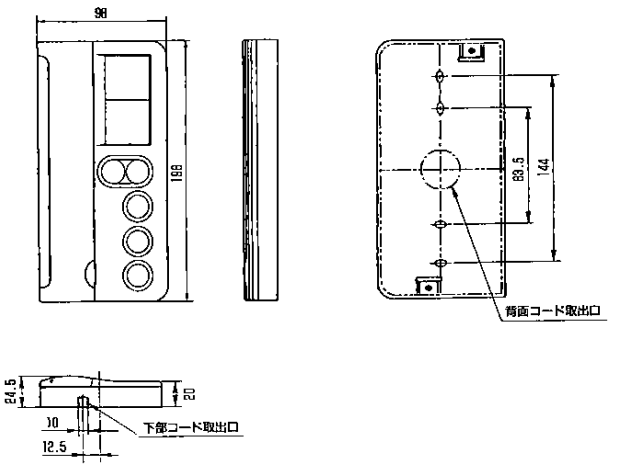
(単位mm)



■風呂リモコン

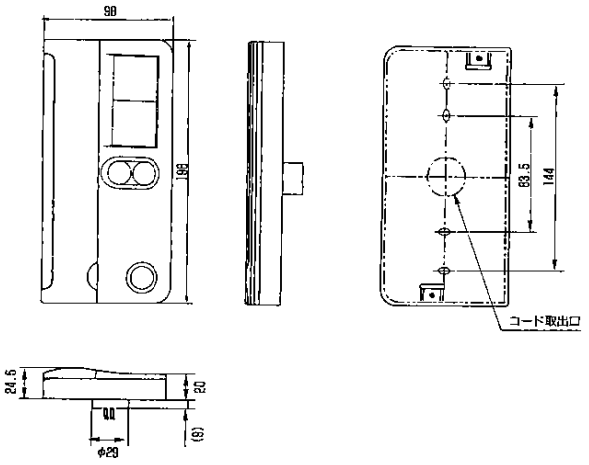


■メインリモコン



寸法図

■サブリモコン(別売部品)



アフターサービス

サービスのお申し込み

●32~36ページの「故障かな?と思ったら」の項を見てもう一度ご確認ください。
●確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合は自分で修理なさらないでお買求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

1. 品　名……ガス風呂給湯器
2. 大阪ガス商品コード…機器前面下部に貼付の銘板をごらんください。

例

(N)31-007
大阪ガス株式会社 03

3. 現　象……(できるだけ詳しく)
●表示パネル(故障表示35ページ参照)が表示している数値をお知らせください。
4. 道　順……(できるだけ詳しく)

転居されるとき

●ガスの種類の異なる地域へ転居される場合
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類をご確認の上、お買求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。
ただし、ガスの種類によっては調整できない場合があります。

保証・補修について

●保証期間中は……
保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。
保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
●保証期間経過後の故障修理について
お買求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打切後10年間です。